

# 各団体等における 次世代育成支援のための取組

平成19年8月

おおいた子ども・子育て応援県民会議

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容								
大分県保育連合会  (安東 知子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大分子育てハイパーネット(<a href="http://www.hoiku21.gr.jp">http://www.hoiku21.gr.jp</a>)により、子育てに関する情報を収集・発信するとともに、育児相談(子育てQ&amp;A)や情報交換(子育て広場)等の場を設け、子育て全般にわたる支援を行う。</li> <li>○小学校・中学校・高等学校における職場体験学習の一環として、保育所体験学習の受け入れや、中・高校生ボランティアの受け入れを推進する。</li> <li>○保育所において、保護者の傷病・入院・育児疲れ等の事由に対応した一時保育を推進する。</li> <li>○保育サービスの質の向上を図るため、保育に関わる保育士等を対象とする各種の研修会を開催する。</li> <li>○地域の子育て支援サービスの充実に資するため、保育ニーズに対応した特別保育事業等に関する保育所の取組及び保育サービス提供の実態等保育所の経営・運営管理や保育内容の向上を目的とした保育実践活動、子育て支援活動の実態等について調査研究を実施する。</li> <li>○子どもの社会性を育むため、地域のお年寄りや保育所を退所した児童等との世代間・異年齢児交流事業等の特別保育事業を推進する。</li> <li>○児童虐待の早期発見・発生予防を推進するため、保育士等を対象とした研修会を開催するとともに、機関誌等により行政通達等関係資料の情報提供を行う。</li> <li>○保育所に入所している乳幼児の健康と事故防止等安全に関する「保育所健康・安全保育研修会」を開催する。</li> <li>○給食により、家族形成や健全な人間性育成に資する食育教育を継続して実施する。</li> <li>○子どもを生み、育てることの喜びや意義等についての理解を深めるための意識啓発等の取組を進める。</li> <li>○各種のフォーラム、キャンペーン等の後援を通じて、生命の大切さ、家庭の役割や安心して子どもを生み、育てることができる社会の形成等についての理解を進める。</li> <li>○人材養成研修会としてのコンピューター活用の足がかりとして、マイクロソフト社パワーポイントを使用したプレゼンテーションの習得を行う。</li> </ul>								
大分労働局 雇用均等室  (池田 真澄)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定届の届出状況及び認定企業数(平成19年7月末現在)               <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(1) 届出企業数</td> <td style="text-align: right;">199社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち届出が義務付けられている301人以上企業数</td> <td style="text-align: right;">66社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">努力義務となっている300人以下企業数</td> <td style="text-align: right;">133社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(2) 認定企業数</td> <td style="text-align: right;">2社</td> </tr> </table> </li> <li>2. 中小企業に対する次世代育成支援に向けた取組推進のための働きかけ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業子育て支援助成金の活用</li> <li>・説明会や個別相談会の開催</li> <li>・戸別訪問指導</li> </ul> </li> <li>3. 育児・介護休業法の定着               <ul style="list-style-type: none"> <li>・法に沿った規定整備についての指導</li> <li>・相談を端緒とする指導</li> </ul> </li> </ol>	(1) 届出企業数	199社	うち届出が義務付けられている301人以上企業数	66社	努力義務となっている300人以下企業数	133社	(2) 認定企業数	2社
(1) 届出企業数	199社								
うち届出が義務付けられている301人以上企業数	66社								
努力義務となっている300人以下企業数	133社								
(2) 認定企業数	2社								

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県中小企業 団体中央会 (衛藤 隆)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央会の組織を通じて少子化対策・子育て支援を行いたい。</li> <li>・ 支援内容についての説明会の開催を行う。</li> </ul>
大分県児童養護 施設協議会  社会福祉法人 聖ヨゼフ寮 (衛藤 祐治)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの権利ノート作成</li> <li>・ 自立支援のためのガイドブック「ステキに生きよう」改訂版出版予定</li> <li>・ 里親との連携 トライアル里親事業</li> <li>・ 児童家庭支援センター 別府・中津での活動</li> <li>・ 学童保育・児童館（県内3ヶ所）</li> <li>・ 各施設小グループ化推進</li> </ul>
大分県PTA連 合会  (尾上 康子)	<p>大分県PTA連合会母親部では、食育についての知識を習得するため、様々な取組をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 / 8 (金) 食育についての意見交換</li> <li>・ 6 / 22 (金) 牛乳・乳製品料理講習会の案内</li> <li>・ 16郡市Pで食育についての講演、給食試食会を行っています。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">(例) 別府市 給食試食会 (対象23校保護者) 8 / 9 (木) 10:00～12:30 参加人数 44名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月に第3回母親部会にて、16郡市Pでの活動発表と情報交換</li> </ul>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県小中学校 校長会協議会  (小野 孝子)	<p>1. 重点取組事項</p> <p>(1) 県民意識の醸成（広報・啓発活動の展開）に係る独自の取組            ◇子育てをテーマにした講演会の開催</p> <p>① 期 日 : 平成19年8月9日（木）</p> <p>② 場 所 : 大分文化会館</p> <p>③ 講師及び演題            講 師 森 照明 氏（西別府病院院長）            演 題 「人を育てる意識改革」～医療とスポーツの現場から～</p> <p>講 師 小菅 正夫 氏（旭川市旭山動物園園長）            演 題 「生き抜く力」～旭山動物園・動物たちのメッセージ～</p> <p>④ 対 象 : 県下の教職員、P T A</p> <p>(2) 地域における子育ての環境整備に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者や地域の人たちが学校行事等に参加しやすい職場環境づくりの推進</li> <li>○ 子どもが安全で楽しい学校生活が過ごせるよう、家庭・地域と連携した安全管理対策の確立</li> <li>○ 育成クラブの支援</li> <li>○ 地域住民による学校安全ボランティア活動（スクールガード）</li> </ul> <p>2. その他の取組</p> <p>(1) 三世代交流活動や文化継承活動等による多様な体験活動の推進</p> <p>(2) 『総合的な学習の時間』を活用した「親子や地域の人たちとのふれあい活動」の推進</p> <p>(3) 読書指導や読み聞かせによる「心育て」の推進</p> <p>(4) 運動会や文化祭等において「親子のきずなを深める活動」の推進</p> <p>(5) 近隣の幼稚園・保育所・小学校・中学校との連携活動の推進</p> <p>(6) 学級P T A等における子育て相談の充実</p> <p>(7) 学級担任や養護教諭・学校栄養職員等による「基本的な生活習慣の確立」や「食育」の推進</p> <p>(8) 次世代の親への啓発（家庭教育学級の充実と子ども育ての講座の実施）</p> <p>(9) 中学校にスクールカウンセラー、小学校に子どもと親の相談員の配置</p>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(株)テレビ大分 (岸田 吉正)</p>	<p>テレビ大分では、未来を託す子どもたちの育成及び子育て支援をテーマに平成18年1月に「TOS子育てキャンペーン」をスタートさせ、年間企画としてニュースや自社制作番組を通じて、少子化の問題を積極的に取り上げています。</p> <p>このような番組放送と並行して、「育児相談」や「子どもの健康相談」などに直接答える「すこやか家族・応援団 子育て博覧会」を弊社構内におきまして、昨年から開催しております。(昨年は、2日間で22,000人の方が来訪)</p> <p>会場に来れば、子育てに関する様々な情報が入手できるというイベントで、子どもを産み育てる家族をサポートするとともに、子育て支援の啓発促進に寄与することを目的としています。</p> <p><b>【主催】</b> 大分県医師会／大分県歯科医師会／大分県栄養士会／大分市私立幼稚園連合会／テレビ大分</p> <p><b>【イベント内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サポートゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各医科の専門医による健康相談</li> <li>・ 栄養士や育児の専門家による食育相談 等</li> </ul> </li> <li>○ ふれあいゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てに役立つステージ、楽しいステージ、遊び等</li> </ul> </li> <li>○ 情報発信ゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協賛各社や子育て支援団体による子育てに関する情報提供</li> </ul> </li> </ul> <p>他にステージゾーン、キッズ広場ゾーン等</p>
<p>公募委員 (坂本 茶和子)</p>	<p>特に団体などには属していません。</p> <p>ささやかで個人的なものですが、子どもの登下校時の見守りとして、洗濯物干しや取り込む時間にベランダから周囲の道路を見渡すようにしています。</p>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p style="text-align: center;">高校教員</p> <p style="text-align: center;">公募委員 (佐藤 新太郎)</p>	<p>私は、2005年4月～2007年2月まで育児休業を取得させていただいた。おかげで、たいへんよい経験ができたと思う。</p> <p>我が国では急速に少子化が進んでいる。このことを懸念する世論の後押しや、2005年7月に成立した次世代育成支援対策推進法という心強い味方の誕生、そして育児休業をすすめてくれた配偶者に私は救われた。</p> <p>次第にこの体験を多くの人に知ってほしいという思いが強くなった。あるいは、このすばらしさを味わってほしいという思いが大きくなった。</p> <p>そこで、次のような活動を個人的に行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 講演活動</li> <li>② 新聞や雑誌に寄稿</li> <li>③ 職場や友人に「育児休業の利点」を積極的に語る。</li> </ol>
<p>大分朝日放送(株)</p> <p>(島田 啓一)</p>	<p>「小学生クラス対抗30人31脚」</p> <p>出場クラスの担任の先生、児童たちから、クラスがまとまった、との評を得ている。</p>
<p>大分県商工会議所女性会連合会</p> <p>(柴田 文子)</p>	<p>本連合会傘下企業を中心に、男女雇用期間均等法の周知徹底を図るとともに、新しい少子化社会対策大綱に基づく企業の意識啓発を促すことを目的として、以下の各項目について、セミナー及び講習会を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場での性別による様々な格差是正、雇用機会均等等の確保</li> <li>2. 子育て期間中の者の勤務時間短縮等、安心して妊娠、出産し、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備</li> <li>3. 出産、育児のために退職した者の再就職支援</li> <li>4. 企業内だけでなく、地域と一体となった子ども・子育てに関する貢献活動の実施</li> <li>5. 全国組織である日本商工会議所と連携し、女性の起業を奨励する「女性起業家大賞」の積極的支援</li> </ol>
<p>大分県経営者協会</p> <p>(仙波 美鈴)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における仕事と家庭の両立支援に関する意識の醸成や固定的な性別役割分担意識を是正していくため、意識啓発を促す。</li> <li>・企業・経営者等に対し、多様な働き方など仕事と子育てをしやすい雇用環境の整備等についての情報提供、相談援助や周知・啓発を進める。</li> <li>・一般事業主行動計画の策定に関して内容の周知を行うとともに、会員企業等からの相談に応じるなど、取組の推進を図る。</li> </ul>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県青少年団体連絡協議会  (竹上 紀代子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成団体それぞれが特性を持ち、地域を中心とした活動プログラムを実践する。</li> <li>・さまざまな分野で技術や資質を持った人の情報を収集し発信する。</li> <li>・多種多様な活動プログラムの企画、立案、実践に子どもを参加させ、体験を通じて学ぶ機会を与える。</li> <li>・家庭と連携をとり、基本的な生活習慣、しつけ、親子対話を支援する取組を進める。</li> <li>・安心して子どもを生み、育てられる環境を整備するために、地域総参加による子育てシステムを構築する。</li> <li>・生命の尊重、食育による健康や体力作り、危険予知能力の備え等の基盤を情報連携から行動連携へと活動を展開させる。</li> </ul>
大分県商工会連合会  (中山 暁)	<p>【国東町商工会青年部】</p> <p>=小学生商い塾を通じた地域防犯活動=</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① くにしきっ子『見守り隊』を部内に設置。(地域防犯パトロール)</li> <li>② 地域防犯ポスターの作成、車輻貼付用マグネットステッカー、タスキ作製</li> <li>③ 学校・企業へ防犯啓発活動を行う。(ポスターの配布)</li> <li>④ 学校関係・老人会・民生委員・PTA・警察署等で構成する連盟協議会において青年部の防犯活動について周知する。(町内4会場)</li> </ol> <p>【安岐町商工会青年部】</p> <p>=「子どもあきんど塾」=</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達に実際に商売の体験という、実社会の活動をそのまま教材として使うことで社会人の一員としての経験をしてもらう。</li> <li>・安岐町に育ったという故郷の思い出を作ってもらう。</li> <li>・自分たちが主体となって事業計画～決算までを行うことにより、自分たちの力で計画・行動し、結果に責任を持つという経験をしてもらう。</li> </ul> <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西安岐小学校の6年生全員(23名)を対象。</li> <li>・5～6名を1班とした4班が各会社となり、それぞれで商材を決めて11月5日のふるさと祭りにお店を出す。</li> <li>・青年部員が講師となって、授業を実施する。</li> </ul>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県高等学校 P T A連合会  (長岡 美智恵)	<p>大分県高等学校P T A連合会では、特に少子化対策は取り組んでいない。</p> <p>九州地区P連総務委員会では少子化対策について協議し、少子化対策は国家的課題であるので、P T Aとして何が出来るか国家的プロジェクトを全国高P連で協議していく必要があるとの意見が出されている。</p> <p>子育て支援事業として、全国高P連では独立行政法人福祉医療機構補助事業として「子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実」事業として毎年各地区（九州地区）でシンポジウムを開催している。</p> <p>18年度は～言葉・態度が人間関係に与える影響～と題して、京都大学木原雅子先生による基調講演とシンポジウムが開催された。</p> <p>19年度は「デジタルメディア社会における子どもの健全育成」～高校生及び保護者のデジタルメディアに対する意識と実態～についてアンケート調査を実施する。</p>
大分県社会保険 労務士会  (橋本 順子)	<p>事業主から、従業員の方々のお仕事に関する全般的なご相談をお受けします。出産・育児に関するご相談もお受けします。時には、従業員の方々を交えまして、解決策をアドバイスいたします。労働保険、社会保険に加入しているのに、事業主、従業員が出産育児一時金（事前申請用）、出産手当金、育児休業給付、各種助成金を利用していない場合もあります。子育て支援で利用できる制度、助成金等をアドバイスし、利用できるものは利用する。</p> <p>コミュニケーションを図ることにより、事業主、従業員が一丸となって、より良い職場環境づくりを行います。結果として、そのことが子育て支援となっています。</p>
グッドイナフの 会  公募委員 (橋本 純子)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談会の開催 (1) 市報や新聞などで広報し、相談会に参加を広く求める。</li> <li>2. 相談内容の分析 (1) 相談の種類などを分析し、どのようなことが悩みであり、その解消法を導く方法を探る。</li> <li>3. 各地区のネットワークづくり</li> </ol>
大分県高等学校 長協会  大分県立野津高 等学校 (濱田 ミチヨ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヤングヘルスセミナーの実施（行政・保健師と連携） 性教育にとどまらず、親となる喜びの視点からのセミナー</li> <li>2. 授業（家庭、保健）を通して、知識だけでなく、親となる心構えの育成 体験を重視した学習により、興味・関心を高め、個人差の大きい、この課題への解決につなげては。</li> <li>3. 保育園ボランティア活動 放課後を活用し、保育園で乳幼児とのふれあいを体験。父性・母性の育成（かわいい、愛しい、大変だなど）。子どもの特性理解。子育ての楽しさ、難しさの体験で、一人の人としての成長がみられる。また将来の職業（保育師、幼稚園教諭）との結びつきも成果としてある。</li> </ol>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県社会福祉協議会  (広瀬 通隆)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニティの再構築として…「支えあうまちづくり事業」の実施              地域で住民自ら見守りや助け合い活動を行うことにより、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れたまちで、心豊かに安心して暮らしていける地域社会を築いていく取組。              この取組により、児童虐待や子育て不安を感じている家庭の早期発見・サポート等を含む、地域の支えあい（共助）を展開していく。</li> <li>2. 日常生活における困りごとの調査として…「生活課題実態調査・分析」の実施              県内約18,500世帯を対象に、生活上の困りごと・心配ごと、地域行事への参加状況、地域の人との関わり等を調査・分析中。              この取組により、「市町村ごとの子育てに関する具体的な困りごと」などを明らかにし、地域の困りごとを地域住民自らが考え、解決に向けた取組に繋げていく。              また、現在の事業の見直しや、組み立てへ展開していく</li> </ol>
大分県医師会  (藤本 保)	<p><b>【個人としての意見】</b></p> <p>子育て環境整備で最も重要なのは、子どもの成育環境を考えること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全・安心の場所を提供する：公園、広場など</li> <li>2. 子ども集団は保育所、幼稚園にしかなくなった現状では、地域の保育所、幼稚園に親子で自由に入出りできるようにする。              ：自宅で母子カプセル状態となっているのが問題              （保育所や幼稚園に通っている子どもはむしろ安心）。</li> <li>3. 子どもを育てる間、子どもと一緒にいたいと希望する親にそれが出来る法的整備が必要。県条例で企業に促す。あるいは補助金等の措置をする。</li> <li>4. 少子化対策のあらゆる企画を実行する              （子どものための予算はあまりにも少ない）。</li> </ol> <p><b>【団体としての意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 育児保健指導（ペリネイタル・ビジット）事業が全市町村で実施されるように働きかけること。</li> <li>2. 病児保育がさらに普及すること。</li> </ol>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分合同新聞社  (帆足 朋成)	<p>平成17年度に「大分合同新聞社行動計画」を策定し、取り組んでいる。主な内容は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 育児休業の所得状況を水準以上にする             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 男性社員は、年に1人以上の取得・・・実績なし</li> <li>② 女性社員は、取得率100%の維持・・・維持している。現在、1人が育休中。</li> </ol> <p>※参考・・・当社の「育児休業・育児短時間勤務規定」に基づき、平成18年度に育児短時間勤務を取得した社員あり。</p> </li> <li>2. 年次有給休暇の取得促進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・管理職を通じて啓発している。取得状況は職場によって差がある。</li> </ul> </li> <li>3. インターンシップ・職場体験を通じた若年者の安定就労・自立した生活の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・提携大学からのインターンシップ受け入れ</li> <li>・・・高校生、中学生の職場体験の受け入れ</li> </ul> <p>以上は、いずれも積極的に実施している。</p> </li> </ol>
大分県民生委員 児童委員協議会  (三宅 桂子)	<p>児童委員並びに主任児童委員の活動推進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童虐待や子育て不安を抱える家庭の発見と支援及び子育てサロンなどの具体的な活動の推進</li> <li>2. 児童委員活動強化方策推進モデル事業の実施 目的：「児童委員並びに主任児童委員活動の活性化」及び「児童虐待防止と子育て支援活動の活性化」を推進するためモデル民児協を指定し、「子育てサロン」の立ち上げを支援。</li> <li>3. 新生児ハッピーメール運動の推進及び「こんにちは赤ちゃん事業」への強力 新生児が誕生した世帯に対してはがきを届け、児童委員・主任児童委員活動をPRし、子育て不安や悩みを解消させる運動をさらに進める。</li> <li>4. 三世代交流事業の推進</li> <li>5. 子どもを犯罪から守る活動の推進</li> <li>6. 教育委員会、NPO団体、保健所等関係機関との連携強化及び児童虐待防止ネットワークへの参加</li> </ol>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
別府市福祉保健部  (宮津 健一)	<p>○「要保護児童対策事業」の推進</p> <p>平成17年4月の改正児童福祉法に基づいて、児童虐待相談をはじめ、すべての要保護児童相談の対応について、市町村が一義的な窓口となることが法定化されたことに伴い、別府市では、平成17年8月に支援体制として「別府市要保護児童対策地域協議会」、「別府市要保護児童対策地域実務者ネットワーク会議」及び「別府市要保護児童対策庁内ネットワーク会議」を設置し、関係機関と連携して児童相談活動を実施しています。</p> <p>19年度は、関係機関との一層の連携の強化・拡大、共通認識の必要性から「別府市要保護児童対策マニュアル」を策定し、要保護児童の早期発見・予防・対策等に努めています。</p>
大分大学  (棕野 美智子)	<p>1. 啓発活動</p> <p>第11回大分大学福祉フォーラム「少子化への対応－働き方の見直しを中心に」の開催（11月19日）</p> <p>2. 調査研究活動</p> <p>「仕事と子育てに関する意識調査」 9月実施 協力 連合大分</p> <p>3. 事業主としての育児支援</p> <p>事業所内保育所の設置 19年4月開設</p>
日本労働組合総連合会大分県連合会  (森 小百合)	<p>1. 連合本部の取組</p> <p>第3次男女平等参画推進計画の策定（2006年11月～2012年10月）</p> <p>(1) 仕事における男女平等参画の実現 男女がともに責任を担い、ともに利益を享受し、一人ひとりがやりがいのある仕事、安心して働き続けられる働き方をする。</p> <p>(2) 男女双方の仕事と生活の調和 残業が恒常化し、家事や育児、介護に携わらない働き方（男性正社員の働き方基準）を見直し、仕事と生活の調和をめざす。</p> <p>2. 連合大分の取組</p> <p>(1) 連合大分加盟構成組織に男女平等参画に関するアンケートを実施</p> <p>1) 労働組合の中での仕事と生活の調和を図る取組把握</p> <p>2) 次世代育成支援対策推進法によって事業主に義務づけられている行動計画の策定状況の把握</p> <p>3) 連合大分2008年度当初予算編成に関する要請書の中に、子育て支援強化を要請（12項目）</p> <p>4) 連合大分女性フォーラムの開催（10月予定）</p>

## 各団体等における次世代育成支援のための取組

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分大学  (山岸 治男)	<p>大分市内のある中学校で、夏休みを活用し、「学習習慣づくり講座」を開きました。学校の了解で、今、10名の生徒が来ています。5回シリーズの3回目を終わった今、毎日生徒が帰り際を書く感想に目を見はっています。ほとんどの生徒が、「集中して、テレビなどに気を取られずに勉強すると、長いと思っていた時間がすぐに過ぎてしまい、しかも、考えていたよりずっと、宿題がはかどる」と記しています。</p> <p>集中すること、テレビや冷蔵庫やマンガ雑誌などに距離をおくことの二つをクリアしようとしている生徒たちです。今は少しずつ、各生徒が、勉強につまづききっかけになったマイナス習慣に気づかせ、逆につまづきから立ち直るきっかけとしてのプラス習慣を、学習方法の中に見つけ出せるための働きかけをしているところです。</p> <p>例えば数学ですと、( ) でくくることの意味や、分数をかけることの意味など、じっくり意味を読み取らせ、考えさせると、文章題が少し楽に解けるようになるのを、生徒の実際の姿の中に観察します。</p>
公募委員  (吉永 陽介)	<p>子ども・子育て応援県民会議は、今年で2年目なのですが、1年目で多くの方との出会いがありました。 そこで今年は、その出会いを結びつけることを行っていきたいと思っています。</p> <p>第一段としては、9月1日は日岡小学校の子ども達と、地域の青少協や防犯、ボランティアの方がふれあい、結びつきを強くするため、NPO法人ふれあい囲碁ネットワークの方に来ていただき、子ども達と地域の方のコミュニケーションを深めてもらいます。</p> <p>その他個人としては、佐賀関小学校と大志生木小学校の保護者の方が、子どもや家庭、地域について、学び、知り合い、ふれあうことを目的として作られた「家庭教育学級」で、コミュニケーションについてワークをさせていただきます。</p> <p>その他、日程は決まっていますが、中島小学校保護者の方やAPU大学の学生の方を対象としたコミュニケーション力向上の研修を行う予定となっています。</p>
大分県私立幼稚園連合会  (渡辺 一恵)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児の親子登園（なぎさちびっ子広場）</li> <li>・子育て講演会・講座の開催</li> <li>・満三歳児保育の充実</li> <li>・長期休暇中の特別保育</li> </ul>